

極秘

大東亞會議決議文(案)

一八一〇一八

亞細亞ハ久シキニ亘リテ侵略ト搾取ノ舞台トナリ、大東亞ノ地域モ亦永ク植民地又ハ半植民地ノ取扱ヒヲ受ケタリ。英米等ハ政治的ニ侵略シ經濟的ニ搾取シ更ニ教育文化ノ手段ニ依リテ民族性ヲ喪失セシメ、相互ニ衝突セシメテ其ノ欲望擁護ノ目的ヲ達シタリ。斯クノ如クシテ東亞^{東亞}籌策ハ奪ハレ、發展ハ阻マレ而シテ其ノ安定ハ害セラレ、平和ハ擾亂セラレ、東亞ノ同胞ハ互ニ贖ニセメクニ至レリ

亞細亞ハ今日覺醒セリ。植民地若ハ半植民地トシテ取扱ハルヘキ時代ハ去レリ。東亞ハ解放セラレ^得ニ復興セントス。東亞ニ於ケル各國家ハ茲ニ自主獨立ノ立場ヲ堅持シ、平等、互惠ノ關係ヲ確立シ、

外務省

善隣和親ノ誼ヲ結ビ以テ大東亞ノ安定ヲ保衛シ、共存共榮ノ天地
 ヲ建設シ、~~身ヲ~~將來世界平和ノ基礎タランコトヲ期スルモノナリ
 永年ニ亘ル壓迫ヨリ離レテ東亞ニ復歸シ、世界ノ一翼トシテ將來
 ノ發展^ニヲ努ムルハ蓋シ東亞諸民族ニ課セラレタル聖^業策ニシテ今日
 其ノ基礎ヲ築クコトハ吾人共通ノ任務ナリ
 大東亞ニ於ケル各國ハ第一^次大東亞會議ノ開催ニ當リ此聖^業策ニ從事
 シ其ノ任務ヲ果スコトニ付テ堅キ決意ヲ表示シ茲ニ之ヲ決議スル
 モノナリ

極秘

大東亞
一稿ヲ奉
大臣ニ
テ御正
セラレ
モノ

大東亞共同宣言案

昭和十八年十月十八日

大東亞ヲ他ノ侵略又ハ搾取ヨリ永遠ニ解放シ道義ニ基キ大東亞ニ於ケル和親ノ關係ヲ建設シ惹テ萬邦共榮ノ世界的建設ト人類ノ平和的發展ニ寄與センカ爲大東亞會議ニ參列セル大東亞各國政府代表ハ共同シテ左ノ通り宣言ス

一 大東亞各國ハ大東亞ヲ永遠ニ解放シ大東亞諸民族ノ自主的向上發展ヲ基調トシ大東亞全體ノ共存共榮ト安定保衛トヲ確保スヘキ決意ヲ有ス

二 大東亞各國ハ相互ニ自主獨立及領土保全ヲ尊重スルト共ニ善隣トシテ平等互助ノ友好關係ヲ確立センコトヲ期ス

三 大東亞各國ハ民生ノ向上ヲ促進シ經濟的安定ヲ圖ランカ爲衡平互

外務省

惠ノ原則ノ下ニ緊密ナル經濟提携ヲ行フ^フ以テ^テ大東亞全體ノ經濟發
 展ヲ圖ルト共ニ進ンテ衡平互惠ノ原則ノ下ニ廣ク世界ニ資源ヲ開
 放シ交易ヲ増進シ世界經濟ノ發達及繁榮ニ協力センコトヲ期ス
 四、大東亞各國ハ相互ニ^其ノ傳統、宗教、文化ヲ尊重シ更ニ「アジ
 亞」^本來ノ精神的文明ノ昂揚ヲ圖リ廣ク文化ノ交流ヲ圖リ以テ世界人
 文ノ發達ニ寄與センコトヲ期ス

外務省

(日本標準規格B5)

IMT 388

極秘

大東亞會議決議文（案）

一八一〇一八

亞細亞ハ久シキニ亘リテ侵略ト搾取ノ舞台トナリ、大東亞ノ地域モ亦永ク植民地又ハ半植民地ノ取扱ヒヲ受ケタリ。英米等ハ政治的ニ侵略シ經濟的ニ搾取シ更ニ教育文化ノ手段ニ依リテ民族性ヲ喪失セシメ、相互ニ衝突セシメテ其ノ欲望擁護ノ目的ヲ達シタリ。斯クノ如クシテ東亞^{東洋}篤策ハ奪ハレ、發展ハ阻マレ而シテ其ノ安定ハ害^害ラレ、平和ハ攪亂セラレ、東亞ノ同胞ハ互ニ牆ニセメクニ至レリ。亞細亞ハ今日覺醒セリ。植民地若ハ半植民地トシテ取扱ハルヘキ時代ハ去レリ。東亞ハ解放セラレ^得ニ復興セントス。東亞ニ於ケル各國家ハ茲ニ自主獨立ノ立場ヲ堅持シ、平等、互惠ノ關係ヲ確立シ、

外務省

(日本標準規格B5)

IMT 383

197

198

善隣和親ノ誼ヲ結ビ以テ大東亞ノ安定ヲ保衛シ、共存共榮ノ天地
 ヲ建設シ^④ 將來世界平和ノ基礎タランコトヲ期スルモノナリ
 永年ニ亘ル壓迫ヨリ離レテ東亞ニ復歸シ、世界ノ一翼トシテ將來
 ノ發展ヲ努ムルハ蓋シ東亞諸民族ニ課セラレタル聖策^業ニシテ今日
 其ノ基礎ヲ築クコトハ吾人共通ノ任務ナリ
 大東亞ニ於ケル各國ハ第一^次大東亞會議ノ開催ニ當リ此聖策^業ニ從事
 シ其ノ任務ヲ果スコトニ付テ堅キ決意ヲ表示シ茲ニ之ヲ決議スル
 モノナリ

外務省

(日本標準規格B5)

IMT 383

198

極秘

大臣ノカ
一稿ヲ更
ニ大臣ニ
於テ修
正セラル
タリ

大東亞共同宣言案

昭和十八年十月十八日

大東亞ヲ他ノ侵略又ハ擄取ヨリ永遠ニ解放シ道義ニ基キ大東亞ニ於ケル和親ノ關係ヲ建設シ惹テ萬邦共榮ノ世界的建設ト人類ノ平和的發展ニ寄與センカ爲大東亞會議ニ參列セル大東亞各國政府代表ハ共同シテ左ノ通り宣言ス

一 大東亞各國ハ大東亞ヲ永遠ニ解放シ大東亞諸民族ノ自主的發展ヲ基調トシ大東亞全體ノ安定保衛ト共存共榮トヲ確保スヘキ堅キ決意ヲ有ス

二 大東亞各國ハ相互ニ自主獨立及領土保全ヲ尊重スルト共ニ善隣トシテ平等互助ノ友好關係ヲ確立センコトヲ期ス

三 大東亞各國ハ民生ノ向上ヲ促進シ經濟的安定ヲ圖ラシカ爲衡平互惠ノ原則ノ下ニ緊密ナル經濟提携ヲ行フコトニヨリ大東亞全體ノ經濟發展ヲ圖ルト共ニ進シテ衡平互惠ノ原則ノ下ニ廣ク世界ニ資源ヲ開放シ交易ヲ増進シ併セテ國際交通ニ對スル障礙ヲ除去シ以

外務省

(日本標準規格 B5)

IMT 383

199

四 予世界經濟ノ發達及繁榮ニ協力セシコトヲ期ス
 大東亞各國ハ相互ニ固有ノ傳統、宗教、文化ヲ尊重シ更ニ「アジ
 ア」本來ノ精神的文明ノ昂揚ヲ圖リ廣ク文化ノ交流ヲ期シ以テ世
 界人文ノ發達ニ寄與セシコトヲ期ス

外務省

大東亞會議決議文(案)

一八一〇一八

亞細亞ハ久シキニ亘リテ侵略ト搾取ノ舞台トナリ、大東亞ノ地域モ亦永ク植民地又ハ半植民地ノ取扱ヒヲ受ケタリ。英米等ハ政治的ニ侵略シ經濟的ニ搾取シ更ニ教育文化ノ手段ニ依リテ民族性ヲ喪失セシメ、相互ニ衝突セシメテ其ノ欲望擁護ノ目的ヲ達シタリ。斯クノ如クシテ東亞繁榮ハ奪ハレ、發展ハ阻マレ而シテ其ノ安定ハ害セラレ、平和ハ攪亂セラレ、東亞ノ同胞ハ互ニ牆ニセメクニ至レリ。亞細亞ハ今日覺醒セリ。植民地若ハ半植民地トシテ取扱ハルヘキ時代ハ去レリ。東亞ハ解放セラレ將ニ復興セントス。東亞ニ於ケル各國家ハ茲ニ自主獨立ノ立場ヲ堅持シ、平等、互惠ノ關係ヲ確立シ、善隣和親ノ誼ヲ結ビ以テ大東亞ノ安定ヲ保衛シ、共存共榮ノ天地ヲ建設シ將來世界平和ノ基礎タランコトヲ期スルモノナリ。永年ニ亘ル壓迫ヨリ離レテ東亞ニ復歸シ、世界ノ一翼トシテ將來ノ

外務省

發展ニ努ムルハ蓋シ東亞諸民族ニ課セラレタル聖業ニシテ今日其ノ
 基礎ヲ築クコトハ吾人共通ノ任務ナリ
 大東亞ニ於ケル各國ハ第一次大東亞會議ノ開催ニ當リ此聖業ニ從事
 シ其ノ任務ヲ果スコトニ付テ堅キ決意ヲ表示シ茲ニ之ヲ決議スルモ
 ノナリ

外
 務
 省

極秘

オ三後会

一八、一九、主務者會議

大東亞共同宣言案

昭和十八年十月十六日
陸、海、外、大東亞主務者案

ニテ修正

其ノ沙ヲ得

抑モ世界各國カ各申テノ分ヲ守リ他ノ分ヲ侵スコトヲ相倚リ相扶

ケテ萬邦共榮ノ樂ヲ備ニスルヘ古今ニ通シテ諒ラサル國交ノ要義キ

シテ又實ニ世界平和確立ノ根本要件ナリ而シテ近隣ノ諸國相集リテ

共存共榮ノ秩序ヲ建設シ他ノ國裁辨トノ間ニ協和ノ關係ヲ結成スル

コトハ世界平和確立ノ最モ有效ニシテ且實際的ナル方圖アリ

然ルニ米英ハ世界ノ最大ナル地域ノ資源トシテ不當ニ壟斷シテ他國ノ

其ノ他國家他民族ノ向上發展ヲ抑壓シ以テ深刻ナル世

界不安ヲ醸成セリ殊ニ大東亞ニ對シテハ飽クナキ侵略擄取ヲ行ヒ國

民の望ヲ蹂躪シ且彼等ノ常套手段タル分割支配ノ策謀ニ依リテ大



203

和秩序
大東亞
一 目的

大東亞各國ハ
協同シテ大東亞
建設シ以テ世界平和ノ確立ニ貢獻セン

大東亞建設ノ原則ニ
協同 平等 互恵 尊重
ノ精神ヲ以テス

大東亞建設ノ目的
大東亞各國ハ
協同シテ大東亞
建設シ以テ世界平和ノ確立ニ貢獻セン

大東亞建設ノ原則ニ
協同 平等 互恵 尊重
ノ精神ヲ以テス

大東亞建設ノ目的
大東亞各國ハ
協同シテ大東亞
建設シ以テ世界平和ノ確立ニ貢獻セン

大東亞建設ノ原則ニ
協同 平等 互恵 尊重
ノ精神ヲ以テス

大東亞建設ノ目的
大東亞各國ハ
協同シテ大東亞
建設シ以テ世界平和ノ確立ニ貢獻セン

大東亞建設ノ原則ニ
協同 平等 互恵 尊重
ノ精神ヲ以テス

大東亞建設ノ目的
大東亞各國ハ
協同シテ大東亞
建設シ以テ世界平和ノ確立ニ貢獻セン

大東亞建設ノ原則ニ
協同 平等 互恵 尊重
ノ精神ヲ以テス

大東亞建設ノ目的
大東亞各國ハ
協同シテ大東亞
建設シ以テ世界平和ノ確立ニ貢獻セン

大東亞建設ノ原則ニ
協同 平等 互恵 尊重
ノ精神ヲ以テス

大東亞建設ノ目的
大東亞各國ハ
協同シテ大東亞
建設シ以テ世界平和ノ確立ニ貢獻セン

大東亞建設ノ原則ニ
協同 平等 互恵 尊重
ノ精神ヲ以テス

大東亞建設ノ目的
大東亞各國ハ
協同シテ大東亞
建設シ以テ世界平和ノ確立ニ貢獻セン

大東亞建設ノ原則ニ
協同 平等 互恵 尊重
ノ精神ヲ以テス

大東亞建設ノ目的
大東亞各國ハ
協同シテ大東亞
建設シ以テ世界平和ノ確立ニ貢獻セン

大東亞建設ノ原則ニ
協同 平等 互恵 尊重
ノ精神ヲ以テス

大東亞建設ノ目的
大東亞各國ハ
協同シテ大東亞
建設シ以テ世界平和ノ確立ニ貢獻セン

全作親和(系列)
人種平等

文化の印揚
る多

及好ぶ学

一(系列)

寄與センコトヲ期ス

二、大東亞各國へ相互ニ主權、獨立及領土保全ヲ尊重シ以テ善隣トシ
テ互助敦睦ノ實ヲ擧ゲ大東亞全體ノ親和ヲ確立センコトヲ期ス

三、大東亞各國へ相互ニ其ノ傳統、宗教、文化ヲ尊重シ以テ大東

亞本然ノ精神文化ヲ發揚シ各民族ノ創造性ヲ伸暢シ以テ世界人文
ノ發展ニ貢獻センコトヲ期ス

四、大東亞各國へ民生ノ向上ヲ促進シ其ノ經濟的進歩ヲ確立センカ爲
相互利益ノ系列トシ

五、圖ルト共ニ平衡互惠ノ原則ノ下ニ廣ク世界ニ資源ヲ開放シ交易

ヲ増進シ世界經濟ノ發達及繁榮ニ協力センコトヲ期ス

併せて、
主シカアルト却テ制限ナリ

「アリア」文化ノ古いもの
大平且トス方持我候利
先をアリ

広ク文化ノ交流ヲ圖リ

極秘

大東亞共同宣言案

才三後
昭和十八年十月十六日
陸、海、外、大東亞主務者案

抑モ世界各國カ各自申テノ分ヲ守リ他ノ分ヲ侵スコトナク相倚リ相扶

テ萬邦共榮ノ樂ヲ借ニスルハ古今ニ通シテ謬ヲサル國交ノ要義キ

トテ又實ニ世界平和確立ノ根本要件ナリ而シテ近隣ノ諸國相集リテ

共存共榮ノ秩序ヲ建設シ他ノ國蒙祥トノ間ニ協和ノ關係ヲ結成スル

口トハ世界平和確立ノ最モ有效ニシテ且實際的ナル方圖ナリ

然ルニ米英ハ世界ノ最大ナル地域ト資源トヲ不當ニ壟斷シテ他國ノ

生存ニ阻ニスルハ其ハ他國家他民族ノ向上發展ヲ抑壓シ以テ深刻ナル世

界不安ヲ醸成セリ殊ニ大東亞ニ對シテハ飽クナキ侵略擄取ヲ行ヒ國

際的^要利益ヲ謀リ且僅等ノ常套手段タル分割支配ノ策謀ニ依リテ大

東亞ノ發展ヲ阻シ且僅等ノ常套手段タル分割支配ノ策謀ニ依リテ大

東亞ノ發展ヲ阻シ且僅等ノ常套手段タル分割支配ノ策謀ニ依リテ大

東亞ノ發展ヲ阻シ且僅等ノ常套手段タル分割支配ノ策謀ニ依リテ大

東亞ノ諸國家諸民族ノ親和ヲ阻止シ以テ大東亞隸屬化ノ野望ヲ逞シ
シテ遂ニ大東亞ノ存立ヲ根底ヨリ覆ヘサントセリ
ウヤリ大東亞戰爭ノ原因茲ニ存ス

大東亞各國ハ斯クノ如キ大東亞戰爭發生ノ世界史的動因ヲ認識シ大

東亞ヲ永遠ニ米英ノ桎梏ヨリ解放シテ其ノ復興興隆ヲ圖リ以テ世界

ノ進歩ニ寄與スルコト各國共同ノ使命ナリト確信ス
（自衛自衛ヲ全クシ其ノ）
（広ク列邦ト相模ヘテ）

仍テ大東亞會議ニ列席セル下名各國代表ハ大東亞戰爭ヲ完遂シテ道

義ニ奉ク新秩序ヲ大東亞ニ建設シ以テ世界平和ノ確立ニ貢獻センガ

而シテ大東亞建設ノ多列ニ關シ
為共同シテ嚴肅主權ノ通宣明ス
（フトヲ明ス）

大東亞各國ハ共同シテ大東亞ノ主權性ヲ確立シ各國カ自主的向上

發展ヲ遂ケ共存共榮ヲ確保スヘキ新秩序ヲ建設シ以テ世界平和ニ

寄與センコトヲ期ス

三 大東亞各國へ相互ニ主權、獨立及領土保全ヲ尊重シツツ善隣トシ

テ互助敦睦ノ實ヲ學ケ大東亞全體ノ親和ヲ確立センコトヲ期ス

三 大東亞各國へ相互ニ其ノ傳統、宗教、文化ヲ尊重シ共同シテ大東

亞本然ノ精神文化ヲ發揚シ各民族ノ創造性ヲ伸揚シ以テ世界人文

ノ發達ニ貢獻センコトヲ期ス

四 大東亞各國へ民生ノ向上ヲ促進シ其ノ經濟的安定ヲ確立センカ爲

互惠ノ原則ノ下ニ相互ニ緊密ナル經濟提携ヲ行ヒ共同シテ大東亞全體ノ經濟的發展

ヲ圖ルト共ニ衡平互惠ノ原則ノ下ニ廣ク世界ニ資源ヲ開放シ交易

ヲ増進シ世界經濟ノ發達及繁榮ニ力センコトヲ期ス

併し其ノ際東亞各國ノ利益ヲ保障スルコトヲ期ス

ル歩を踏み協力を期す

各々文化ノ交流ヲ圖リ

協定ヲ促進

一本建トスル理由

一、二、三

一、戦争完遂ト大東亞建設ハ表裏一體不可分ノ關係ニアリ。此ノ不可分關係ヲ強調スルコトハ大東亞各國ノ戦争協力ニ積極的意義ト希冀トヲ感セシメ大東亞ノ結集ニ資スルノ効果アルノミナラス敵側ニ對シテモ我方ノ戦争目的ノ公正ナルコトヲ宣示シテ敵側抗戰名目ノ覆滅ニ資スルノ効果アリ。此ノ點ヨリシテ二本建トスルヨリハ一本建トスルヲ可トス。

二、大東亞會議ノ政略效果ヲ中外ニ向テ集中的ニ力強ク反映セシムル爲ニハ一本建ニ依ルヲ可トス。二本建トスルトキハ焦點カボケテ

大東亞省

209

印象弱ク其ノ效果ヲ減殺スヘシ。

三、一本建トスルコトハ戦争終末及戦後施策ノ上ヨリシテ不都合ナキ
ヤノ願慮モ一應アリ得ヘキモ右カ毫モ差支ナキコトハ長クモ宣戦
ノ御詔書ノ場合ニ於ケルト同様ナリト存セララル。

四、大東亞建設綱領ハ永遠的ノモノニシテ戦争遂行トハ別個ニ取扱フ
ラ可トストノ見方モアランカナレ共右綱領ハ戦争完遂ナクシテハ
一片ノ反古ニシテ永遠ニ湮没スヘキモノナルノミナラス戦後綱領
トシテモ大東亞戦争完遂ナル歴史的使命ヲ持ツコトニ依リ單ニ理
論的ニシテ非歴史的ナル宣言文ヨリモ却テ其ノ權威ヲ増スモノト
認メララル。

タイプライター用復寫用半紙（石井納）

大東亞省

（昭和1730）（日本標準規格 B5）

211

陸軍省
△未起

本條之草案
リ一者ナリ
ニナリ
及今後ニ
提生未ス

極秘

或程高少案
ヲ抑ム

大東亞共同宣言案

抑モ世界各國カ各其ノ所ヲ得相倚リ相扶ケテ萬邦共榮ノ樂ヲ偕ニス
 ルハ世界平和確立ノ根本要義ナリ而シテ近隣ノ諸國相集リテ共存共
 榮ノ秩序ヲ建設シ他ノ地域ノ諸國トノ間ニ協和ノ關係ヲ結成スルキ
 ヲハ世界平和確立ノ最モ有效ニシテ且實際的ナル方途ナリ
 然ルニ米英ハ自國ノ繁榮ノ爲ニハ他國家他民族ノ生存ヲ顧ミス其ノ
 向上發展ヲ抑壓シ殊ニ大東亞ニ對シテハ飽クナキ侵略搾取ヲ行ヒ正
 當ナル國家的民望ヲ蹂躪シ且常套手段タル分割支配ノ策擧ニ依リテ
 大東亞ノ諸國家諸民族ノ親和ヲ阻止シ以テ大東亞隸屬化ノ野望ヲ逞
 シウシ遂ニ大東亞ノ存立ヲ根底ヨリ覆ヘサントセリ大東亞戰爭ノ原
 因茲ニ存ス

一八一〇・二〇
牙四後人者

外務省

主權
全存
和利

保全
確係
普存
共榮

動因ニ依リ發生セル
ノ本質

大東亞各國ハ斯クノ如キ大東亞戰爭發生ノ動因ヲ認識シ大東亞ヲ米英ノ桎梏ヨリ解放シテ其ノ自存自衛ヲ全ウシ其ノ復興興隆ヲ圖リ廣ク列國ト相携ヘテ世界ノ進運ニ寄與スルコト各國共同ノ使命ナリト確信ス

仍テ大東亞各國ハ協同シテ大東亞戰爭ヲ完遂シ道義ニ基ク新秩序ヲ

大東亞ニ建設シ以テ世界平和ノ確立ニ貢獻センコトヲ期ス而シテ本

東亞建設ノ原則ニ關シ左ノ通宣明ス

一、大東亞各國ハ協同シテ大東亞ノ自主性ヲ確立シ各國力自主的向上

發展ヲ遂ケ共存共榮ヲ確保スヘキ新秩序ヲ建設シ以テ世界平和ニ

寄與センコトヲ期ス

二、大東亞各國ハ相互ニ主權、獨立及領土保全ヲ尊重シツツ善隣トシ

外務省

傳統尊重
文化昇揚

經濟提携
資源開放

協同して

テ互助敦睦ノ實ヲ舉ケ大東亞全體ノ親和ヲ確立センコトヲ期ス

三 大東亞各國ハ相互ニ其ノ傳統、宗教、文化ヲ尊重シ協同シテ大東

亞本然ノ精神文明ヲ發揚シ各民族ノ創造性ヲ伸暢シ廣ク文化ノ興

隆ヲ圖リ以テ世界人文ノ發達ニ貢獻センコトヲ期ス

四 大東亞各國ハ民生ノ向上ト其ノ經濟的繁榮トヲ促進センカ爲互惠

ノ原則ノ下ニ緊密ナル經濟提携ヲ行ヒ共同シテ大東亞全體ノ經濟

的發展ヲ圖ルト共ニ廣ク世界ニ資源ヲ開放シ交易ヲ増進シ世界經

濟ノ發達及繁榮ニ協力センコトヲ期ス

外務省

極秘

大日本帝國政府

政略

214

菊池會議ニ就テ

一八・一〇・二〇

天羽英二

十月二十日 天羽英二

第一、會議全般ニ對スル注意

一、戰爭ノ現段階ニ於テハ萬事戰爭ニ勝チ抜クコトヲ目途トシ、戰

争後ノ問題ハ第二段ニ考慮スルコトトスルヲ至當トス、從テ本會
議ハ戰後ノ諸問題ニモ關聯スルモノナルモ先ヅ戰爭完遂ニ資スル
コトニ重點ヲ置クベシ。

三、本會議ハ會議ノ決定ソノモノヨリモ、會議ニ關スル發表宣傳ニ
ヨリ世界ニ對シ如何ナル影響ヲ及ボシ又大東亞諸民族ニ對シ如何
ナル反響ヲ與フルヤニ重要性ヲ見ルベク、從テ本會議ノ價值ハ百

215

大日本帝國政府

「バーセント」宣傳ニ在リト云フモ過言ニ非ズ、萬一、本會議ニシテ徒ニ事務的取扱ニ墮スルコトアラバ、本會議開催、效果ハ埋没セラルベシ。

三 情報關係ヨリ見レバ現下東西ノ戰局ハ日獨共ニ防衛的ニシテ、情報ニ關シテモ消極的、防禦的ノモノ多ク、國民ノ意氣動カモスレバ沈滞ニ傾カントスル情勢ニ在リ。目下、日獨側、最モ希求スルモノハ積極的、攻勢的情報ナリ。此ノ點ニ於テ菊池會議、意義最モ重シ。

四 本會議ニ於テ先ツ考慮セラルベキ事項ハ

- (一) 大東亞諸民族ノ結集

大日本帝國政府

(二) 戰爭ニ對スル帝國並ニ大東亞ノ立場ヲ表明スルコト
ナルガ本會議ニ於テハ共同宣言及決議文ヲ發表シ此宣言ニ基キテ
宣傳スベシ。

五 該宣言ノ作成ニ當リテハ其内容ニ就キ細密機微ナル注意ヲ要ス

(イ) 宣言ノ内容ハ公明正大世界ヲ納得セシムルモノニシテ、敵側
ニ對シテハ乘ゼラル餘地ヲ存セズ、同盟國ニ對シテハ敵愾心
ヲ鼓舞シ同盟關係ヲ強化シ、中立國ニ對シテハ徒ニ人心ヲ刺戟
セズ又大東亞建設ニ關スル帝國ノ意圖ニ對シテ懷疑ヲ挾ム餘地
無カラシムル様注意ス。

(ロ) 大東亞建設問題ニ就テ大東亞共榮圈ノ理念ヲ昂揚スルハ大東

大日本帝國政府

亞民族、結集ヲ促進スルニ多大ノ效果アルベキモ、餘リニ大東亞共榮圈ノ理念ニ、ミ拘泥シ、又餘リニ強ク其ノ理念ヲ強調スル場合ハ、或ハ日本ノ指導權ガ強ク響キ或ハ日本ノ政策ハ排他的ナリトノ觀念ヲ與ヘ、其結果廣ク世界全體ノ同情ヲ惹キ着クルニ支障ヲ來ス虞無シトセズ、殊ニ重慶ニ於テハ常ニ日本ノ大東亞共榮圈建設ハ日本ノ指導ノ下ニ大東亞諸國ヲ隸屬セントスルモノナリト呼籲スルモノナルヲ以テ我方ニ於テハ今回ノ宣言ニヨリテ重慶側宣傳ノ餘地ヲ無カラシムル作案アルヲ可トス。

從テ本宣言作成ニ當リテハ一方ニ於テ世界ヲ我方ニ抱キ込ム様ニ任向ケツツ、他方ニ於テ大東亞建設ノ理想ヲ發揚シテ大東亞

大 日 本 帝 國 政 府

諸民族、結集ヲ計ルコト肝要ナリ。

(2) 大東亞、建設ハ大東亞各國家各民族、共存共榮ヲ主眼トスルモノナルモ、常ニ其世界的意義ヲ没却セザルヲ要ス、例ヘバ大東亞各國ハ大東亞、平和ヲ維持シ以テ世界平和ノ確保ト人類福祉ノ増進ニ貢獻スルモノナルコトノ意義ヲ表ハスガ如キハ其一例ナリトス。

極秘

大日本帝國政府

大東亞共同宣言案

一八・一〇・二〇

大東亞各國ハ大東亞ニ於テ道義ニ基ク新秩序ヲ建設シ惹テ萬邦共榮ノ世界的建設ト人類ノ平和的發展ニ寄與センカ爲共同シテ左ノ通り宣言ス

一、大東亞各國ハ大東亞ヲ侵略又ハ擄取ヨリ永遠ニ解放シ大東亞諸民族ノ自主的向上發展ヲ計リ以テ世界文明ノ進歩ト人類福祉ノ増進ヲ計ル

二、大東亞各國ハ相互ニ自主獨立及領土保全ヲ尊重スルト共ニ大東亞全體ノ安定保衛ヲ確保シ以テ世界ノ平和ヲ維持ス

三、大東亞各國ハ兄弟姉妹ノ親善關係ヲ維持シ共存共榮・互援互助ノ

大日本帝國政府

關係ヲ増進センコトヲ期ス

四 大東亞各國ハ衡平互惠ノ原則ノ下ニ緊密ナル經濟提携ヲ行ヒ協同シテ大東亞全體ノ民生ノ向上ヲ促進シ經濟發展ヲ圖ルト共ニ進ンテ廣ク世界ニ對シテ往來居住通商貿易資源開發等ニ關シ衡平互惠ノ原則ヲ確立シ以テ世界經濟ノ發達及繁榮ニ協力センコトヲ期ス

五 大東亞各國ハ相互ニ固有ノ傳統、宗教、文化ヲ尊重シ更ニ亞細亞本然ノ精神的文明ノ昂揚ヲ圖リ廣ク文化ノ交流ヲ進メ以テ世界人文ノ發達ニ寄與センコトヲ期ス

極秘 大日本帝國政府

秘

大東亞會議決議文案

一八・一〇・二〇

世界ノ文明ハ亞細亞ヨリ發ス。東亞ノ燦然タル文化ガ世界ヲ光被シタル時ハ歐洲大陸ハ未ダ文化ニ浴セズ。米大陸ハ暗黒ノ蠻地ニ過ギザリシガ近來。米歐ノ物質文明。東漸シテ東方文化ノ光彩ヲ覆フニ至ル。

東亞諸民族ハ由來平和ヲ愛好シ。古來隨地ニ安居樂業シタリシガ。近世歐米ノ侵略ニヨツテ平和ハ紊サレ。亞細亞ハ其壓制ト搾取ニ委セラレ。東亞ノ地域モ亦多クハ植民地的存在ニ墮セリ。米英等ハ東亞ヲ政治的ニ侵略シタルノミナラズ。東亞諸國ヲ相互ニ反噬セシメタリ。彼等ハ東亞ヲ經濟的ニ搾取シタノミナラズ。東亞諸民族ヲ混

大日本帝國政府

亂セシメタリ。而カモ彼等ハ更ニ教育、宗教、文化アラユル手段ニヨリテ東亞ノ民族性ヲ喪失セシムルニ至ル。斯クノ如クシテ東亞ノ繁榮ハ奪ハレ、其ノ發展ハ阻マレ、其ノ安定ハ害セラレ、其ノ平和ハ亂サレ、惹イテ世界ノ不安ヲ醸成セリ。近來ニ至リテ米英ノ野望ハ益々增長シテ遂ニ止マルヲ知ラズ。ココニ東亞諸民族ハ自衛ノ爲矛ヲ執テ立ツ、止ム無キニ至レリ。

世界幾多ノ國家民族ハ古來久シク平和ヲ希求スルモ、遂ニ平和ヲ得ズ。世界幾多ノ民族ハ進歩向上ノ素質ヲ有シ乍ラ其ノ發展ヲ抑壓セラレテ遂ニ萎靡不振ハズ。世界數多ノ富源ハ開發セラレバ人類ニ無限ノ福祉ヲ齎スベカラムモ、只數國ノ獨占搾取ニヨリテ遂ニ厚生

大日本帝國政府

利用、途ヲ塞ガル。斯クテ世界、進歩ヲ妨ゲ人類福祉、増進ヲ阻ム。之何レモ米英等、跋扈跳梁ニ依ルニ非ズシテ何ゾヤ。

然レドモ今ヤ亞細亞ハ覺醒セリ。大東亞諸民族ハ蹶起セリ。大東亞各國ハ一致團結共同、宿敵米英ヲ擊破シテ其勢力ヲ掃蕩シ以テ大東亞、安定ヲ確保シ世界平和ヲ確立スルト共ニ各々、自主、獨立、益々、善隣和親、共存共榮。大東亞、隆昌ヲ計リ以テ人類、繁榮ニ貢獻セントス。

大東亞ヲ米英、桎梏ヨリ永久ニ解放シテ大東亞、興隆ヲ回復シ、以テ世界、進運ニ寄與スルハ大東亞各國各民族共通、聖業ニシテ最崇高ナル使命ナリ。大東亞會議ニ列席スル下名ハ各々其國ヲ代表シ

224

大日本帝國政府

ヲ其聖業ノ完遂ト其使命ノ達成ニ對シテ牢固タル決意ヲ表明ス。
右決議ス。

大日本帝國政府

菊號會議ニ就テ

一八・一〇・一九

第一、會議全般ニ對スル注意

一、戰爭ノ現段階ニ於テハ萬事戰爭ニ勝チ抜クコトヲ目途トシ、戰爭後ノ問題ハ第二段ニ考慮スルコトトスルヲ至當トス、從テ本會議ハ戰後ノ諸問題ニ關聯スルモノナルモ先ヅ戰爭完遂ニ資スルコトニ重點ヲ置クベシ。

二、本會議ハ會議ノ決定ソノモノヨリモ、會議ニ關スル發表宣傳ニヨリ世界ニ對シ如何ナル影響ヲ及ボシ又大東亞諸民族ニ對シ如何ナル反響ヲ與フルヤニ重要性ヲ見ルベク、從テ本會議ノ價值ハ百「パーセント」宣傳ニ在リト云フモ過言ニ非ズ。萬一、本會議ニ

225

大日本帝國政府

シテ徒ニ事務的取扱ニ墮スルコトアラバ、本會議開催ノ效果ハ埋没セラルベシ。

三、情報關係ヨリ見レバ現下東西ノ戰局ハ日獨共ニ防衛的ニシテ、情報ニ關シテモ消極的・防禦的ノモノ多ク、國民ノ意氣動カモスレバ沈滞ニ傾カントスル情勢ニ在リ。目下、日獨側ノ最モ希求スルモノハ積極的・攻勢的情報ナリ。此ノ點ニ於テ菊池會議ノ意義最モ重シ。

四、本會議ニ於テ先ヅ考慮セラルベキ事項ハ

- (一) 大東亞諸民族ノ結集
- (二) 戰爭ニ對スル帝國並ニ大東亞ノ立場ヲ表明スルコト

大日本帝國政府

ナルガ本會議ニ於テハ共同宣言及決議文ヲ發表シ此宣言ニ基キテ
宣傳スベシ。

五 該宣言ノ作成ニ當リテハ其内容ニ就キ細密機微ナル注意ヲ要ス

(1) 宣言ノ内容ハ公明正大世界ヲ納得セシムルモノニシテ、敵側
ニ對シテハ乘ゼラルル餘地ヲ存セズ、同盟國ニ對シテハ敵愾心
ヲ鼓舞シ同盟關係ヲ強化シ、中立國ニ對シテハ徒ニ人心ヲ刺戟
セズ又大東亞建設ニ關スル帝國ノ意圖ニ對シテ情疑ヲ挾ム餘地
無カラシムル様注意ス。

(2) 大東亞建設問題ニ就テ大東亞共榮圈ノ理念ヲ昂揚スルハ大東
亞民族ノ結集ヲ促進スルニ多大ノ效果アルベキモノ、餘リニ大東

大日本帝國政府

亞共榮圈ノ理念ニノミ拘泥シ、又餘リニ強ク其ノ理念ヲ強調ス
ル場合ハ、或ハ日本ノ指導權ガ強ク響キ或ハ日本ノ政策ハ排他
的ナリトノ觀念ヲ與ヘ、其結果廣ク世界全體ノ同情ヲ惹キ着ク
ルニ支障ヲ來ス虞無シトセズ。殊ニ重慶ニ於テハ常ニ日本ノ大
東亞共榮圈建設ハ日本ノ指導ノ下ニ大東亞諸國ヲ隸屬セントス
ルモノナリト呼號スルモノナルヲ以テ我方ニ於テハ今回ノ宣言
ニヨリテ重慶側宣傳ノ餘地ヲ無カラシムル作案アルヲ可トス。
從テ本宣言作成ニ當リテハ一方ニ於テ世界ニ我方ニ抱キ込ム様
ニ仕向ケツツ、他方ニ於テ大東亞建設ノ理想ヲ發揚シテ大東亞
諸民族ノ結集ヲ計ルコト肝要ナリ。

229

大日本帝國政府

(ハ) 大東亞ノ建設ハ大東亞各國家各民族ノ共存共榮ヲ主眼トス
ルモノナルモ常ニ其世界的意義ヲ没却セザルヲ要ス、例ヘバ
大東亞各國ハ大東亞ノ平和ヲ維持シ以テ世界平和ノ確保ト人
類福祉ノ増進ニ貢獻スルモノナルコトノ意義ヲ表ハスガ如キ
ハ其一例ナリトス。

極秘

大日本帝國政府

大東亞共同宣言案

昭和十八年十月十九日

大東亞各國ハ大東亞ニ於テ道義ニ基ク新秩序ヲ建設シ惹テ萬邦共榮、世界的建設ト人類ノ平和的發展ニ寄與センカ爲共同シテ左ノ通り宣言ス

一、大東亞各國ハ大東亞ヲ侵略又ハ擄取ヨリ永遠ニ解放シ大東亞諸民族ノ自主的向上發展ヲ計リ以テ世界文明ノ進歩ト人類福祉ノ増進ヲ計ル

二、大東亞各國ハ相互ニ自主獨立及領土保全ヲ尊重スルト共ニ大東亞全體ノ安定保衛ヲ確保シ以テ世界ノ平和ヲ維持ス

三、大東亞各國ハ平等互助ノ友好關係ヲ確立シ共存共榮、善隣的和親

大日本帝國政府

關係ヲ增進センコトヲ期ス

四大東亞各國ハ民生ノ向上ヲ促進シ經濟的安定ヲ圖ランカ爲衡平互惠ノ原則ノ下ニ緊密ナル經濟提携ヲ行ヒ協同シテ大東亞全體ノ經濟發展ヲ圖ルト共ニ進ンテ衡平互惠ノ原則ノ下ニ廣ク世界ニ資源ヲ開放シ交易ヲ增進シ併セテ國際交通ニ對スル障害ヲ除去シ以テ世界經濟ノ發達及繁榮ニ協力センコトヲ期ス

五大東亞各國ハ相互ニ固有ノ傳統、宗教、文化ヲ尊重シ更ニ亞細亞本然ノ精神的文明ノ昂揚ヲ圖リ廣ク文化ノ交流ヲ期シ以テ世界人文ノ發達ニ寄與センコトヲ期ス

大日本帝國政府

極秘

大東亞會議決議文

世界ノ文明ハ亞細亞ヨリ發ス。東亞ノ燦然タル文化ガ世界ヲ光被シタル時ハ歐洲大陸ハ未ダ文化ニ浴セズ、米大陸ハ暗黒ノ蠻地ニ過ギザリシガ近來、米歐ノ物質文明東漸シテ東方文化ノ光彩ヲ覆フニ至ル。

東亞諸民族ハ由來平和ヲ愛好シ、古來隨地ニ安居樂業シタリシガ、近世歐米ノ侵略ニヨツテ平和ハ紊サレ、亞細亞ハ其壓制ト搾取ニ委セラレ、東亞ノ地域モ亦多クハ植民地の存在ニ墮セリ。米英等ハ東亞ヲ政治的ニ侵略シタルノミナラズ、東亞諸國ヲ相互ニ反噬^{ハシヤ}セシメタリ。彼等ハ東亞ヲ經濟的ニ搾取シタルノミナラズ、

大日本帝國政府

東亞諸民族ヲ混亂セシメタリ。而カモ彼等ハ更ニ教育、宗教、文化アラユル手段ニヨリテ東亞ノ民族性ヲ喪失セシムルニ至ル。斯クノ如クシテ東亞ノ繁榮ハ奪ハレ、其ノ發展ハ阻マレ、其ノ安定ハ害セラレ、其ノ平和ハ亂サレ、惹イテ世界ノ不安ヲ醸成セリ。

近來ニ至リテ米英ノ野望ハ益々增長シテ遂ニ止マルヲ知ラズ。コトニ東亞諸民族ハ自衛ノ爲ヲ執テ立ツノ止ム無キニ至レリ。

世界幾多ノ國家民族ハ古來久シク平和ヲ希求スルモ、遂ニ平和ヲ得ズ。世界幾多ノ民族ハ進歩向上ノ素質ヲ有シ乍ラ其ノ發展ヲ抑壓セラレテ遂ニ萎微振ハズ。世界數多ノ富源ハ開發セラルレバ

大 日 本 帝 國 政 府

人類ニ無限ノ福祉ヲ齎スベカラムモ、只數國ノ獨占搾取ニヨリテ
 遂ニ厚生利用ノ途ヲ塞ガル。斯クテ世界ノ進歩ヲ妨ゲ人類ノ幸福
 ヲ妨グ。之何レモ米英等ノ跋扈跳梁ニ依ルニ非ズシテ何ゾヤ。

今ヤ亞細亞ハ覺醒^{カクセイ}セリ。大東亞諸民族ハ

起ヒリ。大東亞各國ハ一致團結共同ノ宿敵米英ヲ擊破シテ其勢力
 ヲ掃蕩シ以テ大東亞ノ安定ヲ確保シ世界平和ヲ確保スルト共ニ各
 々自主獨立、平等互惠、益々善隣和親共存共榮、大東亞ノ隆昌ヲ
 計リ以テ人類ノ繁榮ニ貢獻セントス。

大東亞ヲ米英ノ桎梏ヨリ永久ニ解放シテ大東亞ノ興隆ヲ回復シ、
 以テ世界ノ進歩ニ寄與スルハ大東亞各國各民族共通ノ聖業ニシテ

235

大日本帝國政府

崇高ナル使命ナリ。大東亞會議ニ列席スル各國代表ハ其聖業ノ
 完遂ト其ノ使命ノ達成ニ對シテ確乎タル決意ヲ表明ス。
 右決議ス。

別ニ我々先達... 諸國相乘リテ共存
 大東亞共同宣言案
 昭和十八年十月二十一日
 大本營政府連絡會議了解(案一)
 此レヲ是レ見ルニトナマズニ
 故ノ時ヲソク行ス。
 抑モ世界各國カ各々其ノ所ヲ侍相倚リ相扶ケテ萬邦共榮ノ樂ヲ惜ニ
 スルハ世界平和確立ノ根本要義ナリ而シテ近隣ノ諸國相乘リテ共存
 共榮ノ秩序ヲ建設シ他ノ地域ノ諸國トノ間ニ協和ノ關係ヲ設定スル
 ハ世界平和確立ノ敢モ有效ニシテ且實際的ナル方途ナリ
 然ルニ米英ハ自國ノ繁榮ノ爲ニハ他國家他民族ノ生存ヲ顧ミズ其ノ
 向上強盛ヲ抑壓シ殊ニ大東亞ニ對シテハ飽クナキ侵略擄取ヲ行ヒ正
 當ナル國民的要素ヲ蹂躪シ且帑帑手取タル分割支配ノ東謀ニ依リテ
 大東亞ノ諸國家諸民族ノ親和ヲ阻止シ以テ大東亞國際化ノ野望ヲ達
 シウシ遂ニ大東亞ノ存立ヲ根底ヨリ覆サントカリ大東亞戰爭ノ原因
 茲ニ存ス

極秘

大東亞共同宣言案
 昭和十八年十月二十一日
 大本營政府連絡會議了解(案一)
 此レヲ是レ見ルニトナマズニ
 故ノ時ヲソク行ス。
 抑モ世界各國カ各々其ノ所ヲ侍相倚リ相扶ケテ萬邦共榮ノ樂ヲ惜ニ
 スルハ世界平和確立ノ根本要義ナリ而シテ近隣ノ諸國相乘リテ共存
 共榮ノ秩序ヲ建設シ他ノ地域ノ諸國トノ間ニ協和ノ關係ヲ設定スル
 ハ世界平和確立ノ敢モ有效ニシテ且實際的ナル方途ナリ

然ルニ米英ハ自國ノ繁榮ノ爲ニハ他國家他民族ノ生存ヲ顧ミズ其ノ
 向上強盛ヲ抑壓シ殊ニ大東亞ニ對シテハ飽クナキ侵略擄取ヲ行ヒ正
 當ナル國民的要素ヲ蹂躪シ且帑帑手取タル分割支配ノ東謀ニ依リテ

大東亞ノ諸國家諸民族ノ親和ヲ阻止シ以テ大東亞國際化ノ野望ヲ達
 シウシ遂ニ大東亞ノ存立ヲ根底ヨリ覆サントカリ大東亞戰爭ノ原因

茲ニ存ス

237
大東亞各國ハ

大東亞各國ハ斯クノ如キ動因ニ依リ發生セル大東亞戦争ノ本質ヲ認識シ大東亞ヲ米英ノ極帝ヨリ解放シ其ノ自存自衛ヲ全フシ其ノ復興

興隆ヲ圖リ廣ク列國ト相携ヘテ世界ノ進運ニ寄與スルコト各國共同

ノ使命ナリト確信ス

仍テ大東亞各國ハ協同シテ大東亞戦争ヲ完遂シテ道義ニ基ク新秩序

ヲ大東亞ニ建設シ以テ世界平和ノ確立ニ貢獻センコトヲ期ス

茲ニ大東亞各國ハ大東亞建設ノ原則ニ謝シ左ノ通宣明ス

一、大東亞各國ハ協同シテ大東亞ノ保全ヲ確保シ各國カ自主的向上發

展ヲ遂ケ共存共榮ヲ確保スハキ新秩序ヲ建設シ以テ世界平和ニ寄

與センコトヲ期ス

二、大東亞各國ハ主權ヲ獨立必強土ヲ尊重シ互

以下各年
十種
ヲ以テ
一標

助致睦ノ實ヲ學ケ協同シテ大東亞華禮ノ親和ヲ確立セシムコトヲ期ス

民族自ノ信見ヲ振興ス

三、大東亞各國ハ種々其ノ傳統・宗教・文化ヲ尊重シ協同シテ大東

亞本然ノ精神文化ヲ立場シ各氏族ノ創造性ヲ伸暢シ廣ク文化ノ交

流ヲ圖リ以テ世界人又ノ發達ニ貢獻セシムコトヲ期ス

四、大東亞各國ハ民生ノ向上ト其ノ經濟的繁榮トヲ促進セシムカ爲互惠

ノ原則ノ下ニ茶田ナル種別提議ヲ行ヒ協同シテ大東亞全體ノ經濟

的發展ヲ圖ルト共ニ廣ク世界ヲ資源ヲ開成シ交易ヲ増進シ世界經

濟ノ發達及繁榮ニ協力セシムコトヲ期ス

五、昭和十八年十一月 日

各國代表百名（略）

極秘

大東亞共同宣言案

昭和十八年十月二十一日
大本營政府連絡會議了解(案)

抑モ世界各國カ各々其ノ所ヲ得相倚リ相扶ケテ萬邦共榮ヲ樂ヲ借ニ
スルハ世界平和確立ノ根本要義ナリ

然ルニ米英ハ自國ノ繁榮ノ爲ニハ他國家他民族ヲ抑壓シ殊ニ大東亞
ニ對シテハ飽クナキ侵略搾取ヲ行ヒ大東亞隸屬化ノ野望ヲ逞シウシ
遂ニ大東亞ノ安定ヲ根底ヨリ覆サントセリ大東亞戰爭ノ原因茲ニ存

ス

大東亞各國ハ相提携シテ大東亞戰爭ヲ完遂シ大東亞ヲ米英ノ桎梏ヨ
リ解放シ其ノ自存自衛ヲ全フシ道義ニ基ク新秩序ヲ大東亞ニ建設シ

外務省

テ世界平和ノ確立ニ寄與センコトヲ期ス
仍テ茲ニ大東亞各國ハ左ノ通宣明ス

一、大東亞各國ハ協同シテ大東亞ノ保全ヲ確保シ其ノ共存共榮ノ新秩序ヲ建設ス

二、大東亞各國ハ相互ニ自主獨立ヲ尊重シ互助敦睦ノ實ヲ舉ケ大東亞ノ親和ヲ確立ス

三、大東亞各國ハ相互ニ民族間ノ偏見ヲ拂拭シ其ノ傳統ヲ尊重シ大東亞本然ノ文化ヲ昂揚ス

四、大東亞各國ハ互惠ノ下緊密ニ提携シ其ノ經濟發展ヲ圖リ大東亞ノ繁榮ヲ増進ス

五、大東亞各國ハ萬邦トノ交誼ヲ篤クシ普ク文化ヲ交流シ進ンテ資源

外務省

242

ヲ開放シテ世界ノ進運ニ貢獻ス

昭和十八年十一月

日

各國代表者名（略）

外務省

242

(日本標準規格B5)
IMT 383

大

臣

一、

ヲ

種

一、表品初、案ニ在リタニ文句ヲ再ビ伝カシテ

一、皇後、一、

山、人種的差別ヲ撤廃シ、ハ陸軍、ハ種ク主張スル案、

陸軍以外ハ本文句ヲ抄録シ、人種問題ニ觸レザル最

上トテモ、後、言フナリ、人種平等ノ實ヲ云ヒ

昨、二十一日、夜、内閣、議、案ニ
對シテ、修、正、案、出、テ、友、友
事、二、十、日、午、後、閣、議、友、友、友
更、ニ、案、後、到、シ、コ、シ、テ、決、定、シ
テ、云、フ、事、也、

(署名)

課長

(署名)

核、算、ノ、備、見、ヲ、拂、抵、シ、

シ、是、キ、ル、キ、ル、ニ、見、シ、

外務省

大臣

宣旨案書換カテ後會

要再回

政務局第一課長

45

「各民族ノ創造性ヲ伸暢シ」ハ「民族ヨリ偏見ヲ拂拭シ

ヲ排除スル事」^次全體トシテカシ淋シキヤニ見ル

挿入せんモノナリ

「最近の初ノ案ニ在リタル文句ヲ再ビ伝ヘシテ

一 最後ノ項

(1) 「人種的差別ヲ撤廃シ」ハ陸軍ノ強ク主張スル案

陸軍以外ハ本文句ヲ削除シ人種問題ニ觸レザル事

上トシテモ後ノ言フナリ人種平等ノ裏ヲ示シ

外務省



大東亞共同宣言案

昭和十八年十月二十二日
大本營政府連絡會議了解(案)

抑モ世界各國カ各々其ノ所ヲ得相倚リ相扶ケテ萬邦共榮ノ樂ヲ借ニ
スルハ世界平和確立ノ根本要義ナリ

然ルニ米英ハ自國ノ繁榮ノ爲ニハ他國家他民族ヲ抑壓シ殊ニ大東亞
ニ對シテハ飽クナキ侵略搾取ヲ行ヒ大東亞總腐化ノ野望ヲ逞シウ
遂ニハ大東亞ノ安定ヲ根底ヨリ覆サントセリ大東亞戰爭ノ原因茲ニ
存ス

大東亞各國ハ相提攜シテ大東亞戰爭ヲ完遂シ大東亞ヲ米英ノ極權日
リ解放シテ其ノ自存自衛ヲ全フシ道義ニ基ク新秩序ヲ大東亞ニ建設
以テ世界平和ノ確立ニ特與センコトヲ期ス

仍テ茲ニ大東亞各國ハ左ノ通宣明ス

一、大東亞各國ハ協同シテ大東亞ノ保全ヲ確保シ共存共榮ノ秩序ヲ

建設ス

一、大東亞各國ハ相互ニ自主獨立ヲ尊重シ互助敦睦ノ實ヲ舉ケ大東亞

ノ親和ヲ確立ス

一、大東亞各國ハ相互ニ民族間ノ偏見ヲ拂拭シ其ノ傳統ヲ尊重シ大東

亞ノ文化ヲ昂揚ス

一、大東亞各國ハ互惠ノ下緊密ニ提携シ其ノ經濟發展ヲ圖リ大東亞ノ

繁榮ヲ増進ス

一、大東亞各國ハ島邦トノ交誼ヲ篤クシ普ク文化ヲ交流シ進ンテ會源ヲ開放シ

ヲ開放シテ世界ノ進運ニ貢獻ス

A又ハB
何カヲ
採用スル
2ト

246
格高ク意見一致ヤス

人種的差別ヲ撤廃ス

相互尊重

安定

道義ニ基ク

各民族ノ創造性ヲ伸暢シ

247

昭和十八年十一月一日

各國代表者名(略)

IMT 383

247

248

極秘

大東亞共同宣言案

昭和十八年十月二十二日
大本營政府連絡會議了解(案)

抑モ世界各國ヲ各々其ノ所ヲ得相倚リ相扶ケテ萬邦共榮ノ樂ヲ偕ニ
スルハ世界平和確立ノ根本要義ナリ

然ルニ米英ハ自國ノ繁榮ノ爲ニハ他國家他民族ヲ抑壓シ殊ニ大東亞
ニ對シテハ飽クナキ侵略搾取ヲ行ヒ大東亞隸屬化ノ野望ヲ逞シウシ
遂ニハ大東亞ノ安定ヲ根底ヨリ覆サントセリ大東亞戰爭ノ原因茲ニ
存ス

大東亞各國ハ相提携シテ大東亞戰爭ヲ完遂シ大東亞ヲ米英ノ桎梏ヨ
リ解放シテ其ノ自存自衛ヲ全フシ道義ニ基ク新秩序ヲ大東亞ニ建設
シ以テ世界平和ノ確立ニ寄與センコトヲ期ス

仍于茲ニ大東亞各國ハ左ノ通宣明ス

一、大東亞各國ハ協同シテ大東亞ノ保^{安定}全ヲ確保シ共存共榮ノ新秩序ヲ建設ス

一、大東亞各國ハ相互ニ自主獨立ヲ尊重シ互助敦睦ノ實ヲ擧ケ大東亞ノ親和ヲ確立ス

一、大東亞各國ハ相互ニ民族間ノ偏見ヲ拂拭シ其ノ傳統ヲ尊重シ大東亞ノ文化ヲ昂揚ス

一、大東亞各國ハ互惠ノ下緊密ニ提携シ其ノ經濟發展ヲ圖リ大東亞ノ繁榮ヲ促進ス

A. B. C. D. 何レカラ
A. 人類相愛義ニ徹シ
B. 人種的差別ヲ撤廃シ
C. 如ク資源、相通ヲ圖リ
D. 進ンテ資源
ヲ開放シテ世界ノ進運ニ貢獻ス

各民族ノ創造性ヲ伸揚シ

道義ニ基ク

250

昭和十八年十一月 日

各國代表者名(略)

IMT 383

250

251

極
祕

大
東
亞
共
同
宣
言

IMT 383

251

大東亞共同宣言

抑、世界各國が各其ノ所ヲ得相倚リ相扶ケテ萬邦共榮ノ樂ヲ偕ニスルハ世界平和確立ノ根本要義ナリ
 然ルニ米英ハ自國ノ繁榮ノ爲ニハ他國家他民族ヲ抑壓シ特ニ大東亞ニ對シテハ飽クナキ侵略搾取ヲ行ヒ大東亞隸屬化ノ野望ヲ逞ウシ遂ニハ大東亞ノ安定ヲ根柢ヨリ覆サントセリ大東亞戰爭ノ原因茲ニ存ス

大東亞各國ハ相提携シテ大東亞戰爭ヲ完遂シ大東亞ヲ米英ノ桎梏ヨリ解放シテ其ノ自存自衛ヲ全ウシ左ノ綱領ニ基キ大東亞ヲ建設シテ世界平和ノ確立ニ寄與センコトヲ期ス

- 一、大東亞各國ハ協同シテ大東亞ノ安定ヲ確保シ道義ニ基ク共存共榮ノ秩序ヲ建設ス
- 一、大東亞各國ハ相互ニ自主獨立ヲ尊重シ互助敦睦ノ實ヲ舉ゲ大東亞ノ親和ヲ確立ス
- 一、大東亞各國ハ相互ニ其ノ傳統ヲ尊重シ各民族ノ創造性ヲ伸暢シ大東亞ノ文化ヲ昂揚ス
- 一、大東亞各國ハ互惠ノ下緊密ニ提携シ其ノ經濟發展ヲ圖リ大東亞ノ繁榮ヲ増進ス
- 一、大東亞各國ハ萬邦トノ交誼ヲ篤ウシ人種的差別ヲ撤廢シ普ク文化ヲ交流シ進ンデ資源ヲ開放シ以テ世界ノ進運ニ貢獻ス

253

DÉCLARATION

C'est le principe fondamental pour l'établissement de la paix mondiale que les nations du monde obtiennent chacune la place qui leur convient et partagent les fruits de la prospérité commune universelle, en se prêtant mutuellement aide et assistance.

Les Etats-Unis d'Amérique et l'Empire Britannique n'ont pas hésité à opprimer les autres nations et races uniquement au profit de leur propre prospérité. Particulièrement en Grande Asie Orientale, les deux Puissances se sont livrées à des actes d'insatiable agression et exploitation, et ont cherché à satisfaire leur ambition de réduire à l'esclavage la région entière; elles finirent par porter atteinte au fondement même de la sécurité de la Grande Asie Orientale. C'est là que réside la cause de la présente guerre.

Les pays de la Grande Asie Orientale se proposent, en vue de contribuer au rétablissement de la paix mondiale, de coopérer à la poursuite de la présente guerre jusqu'à sa conclusion victorieuse, libérant la région entière du joug anglo-américain, assurant leur existence et leur défense, et construisant une Grande Asie Orientale suivant les principes ci-après :

- ≡ 1. Les pays de la Grande Asie Orientale, unissant leurs efforts, assureront la sécurité de la région et établiront un ordre permettant d'atteindre leur prospérité et bien-être communs basés sur la justice.
2. Les pays de la Grande Asie Orientale établiront des relations de fraternelle amitié à travers la région en respectant

mutuellement la souveraineté et l'indépendance de chaque pays, et en nouant réciproquement des liens d'amitié et d'entraide.

3. Les pays de la Grande Asie Orientale, en respectant mutuellement les traditions de chaque pays et en stimulant la puissance créatrice de chaque race, rehausseront la civilisation de la Grande Asie Orientale.

4. Les pays de la Grande Asie Orientale accroîtront la prospérité de la Grande Asie Orientale en s'efforçant au développement économique au moyen d'une intime collaboration basée sur la réciprocité.

5. Les pays de la Grande Asie Orientale contribueront au progrès de l'humanité en entretenant des rapports amicaux avec tous les pays du monde et en s'efforçant de réaliser dans l'univers l'abolition de toute discrimination raciale, en entretenant un courant d'échange culturel et en permettant le libre accès aux ressources naturelles.

254

JOINT DECLARATION

It is the basic principle for the establishment of world peace, that the nations of the world have each its proper place, and enjoy prosperity in common through mutual aid and assistance.

The United States of America and the British Empire have in seeking their own prosperity oppressed other nations and peoples. Especially in East Asia, they indulged in insatiable aggression and exploitation, and sought to satisfy their inordinate ambition of enslaving the entire region, and finally they came to menace seriously the stability of East Asia. Herein lies the cause of the present war.

The countries of Greater East Asia, with a view to contributing to the cause of world peace, undertake to cooperate toward prosecuting the War of Greater East Asia to a successful conclusion, liberating their region from the yoke of British-American domination, and ensuring their self-existence and self-defense, and in constructing a Greater East Asia, in accordance with the following principles:

1. The countries of Greater East Asia through mutual cooperation will ensure the stability of their region and construct an order of common prosperity and well-being, based upon justice.
2. The countries of Greater East Asia will ensure the fraternity of nations in their region, by respecting one another's sovereignty and independence and practicing mutual assistance and amity.

3. The countries of Greater East Asia, by respecting one another's traditions and developing the creative faculties of each race, will enhance the culture and civilization of Greater East Asia.

4. The countries of Greater East Asia will endeavour to accelerate their economic development through close cooperation upon a basis of reciprocity, and to promote thereby the general prosperity of their region.

5. The countries of Greater East Asia will cultivate friendly relations with all the countries of the world, and work for the abolition of racial discriminations, the promotion of cultural intercourse, and the opening of resources throughout the world, and contribute thereby to the progress of mankind.

六

極
欲

JOINT DECLARATION

It is the basic principle for the establishment of world peace that the nations of the world have each its proper place, and enjoy prosperity in common through mutual aid and assistance.

The United States of America and the British Empire have in seeking their own prosperity oppressed other nations and peoples. Especially in East Asia, they indulged in insatiable aggression and exploitation, and sought to satisfy their inordinate ambition of enslaving the entire region, and finally they came to menace seriously the stability of East Asia. Herein lies the cause of the present war.

The countries of Greater East Asia, with a view to contributing to the cause of world peace, undertake to cooperate toward prosecuting the War of Greater East Asia to a successful conclusion, liberating their region from the yoke of British-American domination, and ensuring

of reciprocity and to promote thereby the general prosperity of their region.

5. The countries of Greater East Asia will cultivate friendly relations with all the countries of the world, and work for the abolition of racial discriminations, the promotion of cultural intercourse and the opening of resources throughout the world, and contribute thereby to the progress of mankind.

their self-existence and self-defense, and in constructing a Greater East Asia in accordance with the following principles:

1. The countries of Greater East Asia through mutual cooperation will ensure the stability of their region and construct an order of common prosperity and well-being based upon justice.
2. The countries of Greater East Asia will ensure the fraternity of nations in their region, by respecting one another's sovereignty and independence and practicing mutual assistance and amity.
3. The countries of Greater East Asia by respecting one another's traditions and developing the creative faculties of each race, will enhance the culture and civilization of Greater East Asia.
4. The countries of Greater East Asia will endeavour to accelerate their economic development through close cooperation upon a basis

259

大東亞、南洋、緬甸、印度

タイプライター用複寫用牛殺(石)納

一、南洋、緬甸、印度、南洋、緬甸、印度ノ宣示明

米英及重慶ノ

二、大東亞、南洋、緬甸、印度ノ覆滅

三、大東亞、南洋、緬甸、印度ノ長期ニ互リ反覆ニ行ハルヲ實施スルモノトス

四、大東亞、南洋、緬甸、印度ノ指導性ヲ直接印象付クルカ如キ書振リヲ

五、大東亞、南洋、緬甸、印度ノ指導性ヲ直接印象付クルカ如キ書振リヲ

六、大東亞、南洋、緬甸、印度ノ指導性ヲ直接印象付クルカ如キ書振リヲ

爲ササルコト

七、大東亞カ世界ニ對シ排他的閉鎖的ナルカノ如キ印象ヲ與ヘサル

コト

八、大東亞共榮圈ノ範圍ニ關シテハ積極的ニ觸ルルヲ避ケ特ニ蘇聯

ヲ包含ヤシムルカ如キ印象ヲ與ヘサルコト

九、佛印ニハ特ニ觸レサルコト

大東亞省

東京(770) (日本標準規格 B5)

INT 383

260

115

大東亞戦争カ人種戦タルカノ如キ印象ヲ與ヘサルコト
イキ

東洋

(南洋) 南洋ニ関スル事

大東亞戦争ノ結果、南洋ニ其ノ代表、活動

開港

法三

ハ尙而代表也之ヲ取好ハサルモノトス。

大東亞省

タイプライター用複写用半紙 (石井納)

極秘

菊號宣傳要綱（案）

昭和十八年十一月三日
閣議諒解

方針

大東亞會議ヲ契機トシ、大東亞各國ノ大東亞戰爭完遂ノ決意ト大東亞建設ニ對スル團結協力トヲ一層強化促進スルト共ニ之ヲ中外ニ普及徹底セシメ敵側ノ戰爭名目ヲ覆滅シ其ノ戰意ヲ破碎スルニ努ム

要綱

一、宣傳内容トシテ左記各項ニ重點ヲ置ク

- (1) 大東亞戰爭ノ原因ノ究明
- (2) 大東亞戰爭ノ目的ノ宣示
- (3) 大東亞戰爭完遂ノ決意ノ表明
- (4) 大東亞建設綱領ノ徹底及大東亞團結集態勢ノ宣明
- (5) 米英及重慶ノ戰爭目的ノ覆滅
- (6) 大東亞宣言ニ關シテハ長期ニ亘リテ其ノ趣旨ヲ反覆宣傳ス

261

三 宣傳ノ實施ニ當リテハ左記諸點ヲ注意スルモノトス

(イ) 大東亞ニ於ケル帝國ノ指導性ヲ直接印象付ケルカ如キ書振リヲ爲ササルコト

(ロ) 大東亞カ世界ニ對シ排他的閉鎖的ナルカノ如キ印象ヲ與ヘサルコト

(ハ) 大東亞共榮圈ノ範圍ニ關シテハ積極的ニ觸ルルヲ避ケ特ニ蘇聯領土ヲ包含セシムルカ如キ印象ヲ與ヘサルコト

(ニ) 佛印ニハ特ニ觸レサルコト

(ホ) 大東亞戰爭カ人種戰タルカノ如キ印象ヲ與ヘサルコト

備 考

大東亞會議開催ノ事實及各國代表ノ行動ハ當局發表迄之ヲ取扱ハサルモノトス

在外傳佈

十一月廿七日

岡田

極秘

菊號宣傳實施要綱（案）

情報局	昭一八。一〇。三一 閣議諒解	情企乙第八十三號
-----	-------------------	----------

快生

一、指針

大東亞會議開催ニ當リ大東亞各國ノ大東亞戰爭完遂ノ決意ト大東亞建設ニ對スル團結協力トチ一層強化促進スルト共ニ之ヲ中外ニ宣揚シ敵側ノ戰爭目的ヲ覆滅シ其ノ戰意ヲ破碎スルニ努ム。

右宣傳實施ニ當リテハ對外效果ヲ主タル目標トスルモ同時ニ國民ノ大東亞建設ニ對スル自信ヲ強化シ其ノ戰意ヲ昂揚スル如ク誘導ス。

宣傳内容

(一) 今次會議ノ開催ニ關シ左記ニ依リ宣傳ヲ行フ

(1) 大東亞建設ノ進捗カ結集シテ今次會議開催ニ至レルモノナルコトヲ明ニス

(2) 會議ニ參集セル各國代表カ何レモ大東亞ノ大立物ニシテ各國民衆ノ大東亞建設ヘノ熱意ヲ代表スルモノナルコトヲ指摘ス

(二) 大東亞會議ノ進行及大東亞共同宣言ノ宣布ニ關連シ左記ニ依リ宣傳ヲ行フ

(イ) 大東亞戰爭ノ原因ヲ究明ス

米英力大東亞隸屬化ノ野望ニ基キ大東亞ニ禍亂ヲ助長シ其ノ安定ヲ根柢ヨリ覆サントセル經緯ヲ指摘ス

(ロ) 大東亞戰爭ノ目的ヲ宣示ス

大東亞ヲ米英ノ侵略ヨリ解放シ其ノ自存自衛ヲ全ウシ道義ニ基ク大東亞ノ新秩序ヲ建設シ以テ世界平和ノ確立ニ寄與スルコトカ大東亞戰爭ノ目的ナルコトヲ宣示ス

(ハ) 大東亞戰爭完遂ノ決意ヲ表明ス

大東亞各國ハ相提携シ不動ノ決意ト必勝ノ信念トヲ以テ大東亞戰爭ヲ完遂スルモノニシテ今次會議ハ之カ發露ナルコトヲ表明ス

(ニ) 大東亞宣言中ノ建設綱領ヲ解明シ之ヲ中外ニ徹底ス

大東亞建設ノ綱領ヲ普及徹底スルト共ニ之カ大東亞各國共同ノ使命及世界平和確立ノ根本要義ニ合致スルモノナルコトヲ闡明ス

(外) 米英及重慶ノ戰爭目的ノ殺滅ヲ圖ル

大東亞ニ建設セラルル新秩序カ正義人道ニ則ルモノニシテ大東亞各國カ其ノ共通要望トシテ之カ建設ノ爲協力シ居ルコト及右新秩序カ我現實ノ施策ニ依リ着々實現セラレ居ルコト等ヲ強調シ米英ノ戰爭名目カ滅失セルコトヲ指摘ス重慶ニ對シテハ日華同盟條約ニ關スル宣傳要綱ノ要領ニ依ル

(三) 今次會議ノ成果ニ關シ左記ニ依リ宣傳ヲ行フ

(イ) 今次會議ニ依リ大東亞ノ結集ハ益々強化セラレ我必勝ノ態勢完璧ニ達セルコトト大東亞建設ノ恒久的基礎成リタルコトト強調ス

(ロ) 大東亞建設綱領確定シ大東亞各國ノ共同理想ハ茲ニ明確トナリ各國ニ於ケル建設ノ熱意ハ益々昂揚セラレ何レモ共同理想ノ實現ニ努力スベク其ノ成果ハ期シテ待ツベキモノアルヲ強調ス

三 留意事項

(一) 大東亞ニ於ケル帝國ノ指導性ヲ直接印象付ケルカ如キ書振リヲ爲ササルコト
帝國ノ指導性ニ付テハ我方ヨリ之ヲ他國ニ押付ケル如キ言論ハ此

際抑止スルモノトス

但他ノ諸國ニ於テ言及シ之ヲ我方ニ於テ引用スルハ妨ケ無シ

(一) 大東亞カ世界ニ對シ排他的閉鎖的ナルカヲ如キ印象ヲ與ヘサルコト

(二) 大東亞共榮圈ノ範圍ニ關シテハ積極的ニ觸ルルヲ避ケ特ニ蘇聯領

土ヲ包含セシムルカ如キ印象ヲ與ヘサルコト

(三) 佛印ニハ特ニ觸レサルコト

(四) 大東亞戰爭カ人種戰タルカノ如キ印象ヲ與ヘサルコト

措 置

(一) 大東亞會議開催ノ事實及各國代表ノ行動ハ當局發表迄之ヲ取扱ハ

サルモノトス

(二) 當局發表以前ニ於テハ議會ニ於ケル首相ノ演說及日華條約締結等

ニ關連セシメ大東亞建設ノ進捗ヲ宣傳ス

(三) 大東亞官言ニ關シテハ長期ニ亘リテ其ノ趣旨ヲ反覆宣傳ス